

「お弁当と外食のはざままで」

料理が好きで、作るのが好きで食べるのが好きで、食べてもらうのも大好きだ。子供が小さい頃から毎日家族分のお弁当を作り、出かける時でもできるだけ手作り弁当を持参してきた。お弁当を作ることはまったく苦にならない。むしろ週末には、旬や彩を考えて食材を買いに行き、帰ってからはちょっとビールやスパークリングワインなどを飲みながら、ごはんの支度と同時進行で下ごしらえをしたり、副菜を作ったりするのを楽しんでいる。野菜は予め塩ゆでにして、適当な大きさに切っておく。レタスやプチトマトは洗って水気を拭き、すぐに使えるようにジプロックに入れておく。肉やエビに衣をつけてフライにし、残ったパン粉やとき卵に、玉ねぎのみじん切りと挽肉を加えてハンバーグの種を作っておく。里芋やひじき、ちくわや厚揚げなどはなるべく水分が残らないように煮込んで、傷みにくいようにする。味の変化を求めて、レシピ本を参考に調味料にも凝るようになり、都会へ出た時にはスーパーマーケットやデパートの食料品売り場を歩くのが習慣になっている。

平日は、こうして出来上がったお弁当を頂くことでエネルギーを補給し、午後からのやる気につなげてきた。自分で作ったお弁当は分量も調節できるし、素材や工程にも謎がなく安心できる。

大のお弁当好きだが、じつはこのところちょっと困ったことになっている。職場では年に数回、同僚とランチに外へ出られる期間があるのだが、いつしか私は誰からも誘ってもらえなくなっている。最年長であるがゆえに煙たがられているのかもしれないし、「たぶん今日も持参のお弁当があるでしょ」と思われているのかもしれない。自分から「ランチ行かない？」と誘えばいいのだが、周りは皆年下で、「変に気を遣わせるのも嫌だな」とか「行かない」と断られるのも傷つくな、と躊躇してしまう。本当は皆と一緒にランチに行きたいのに行けない。他の人から見れば全然大したことではないだろうけど、私にとってはものすごくハードルの高いことになってしまって、その期間がただひたすらに辛い。

たかがお弁当、されどお弁当である。お弁当のせいで、自分が置かれた状況が見える化されてしまい、人のいなくなったデスクで一人お弁当を食べる私は孤独である。大好きなお弁当もおいしく感じられない。とっとと早食いして、何事もなかったかのように、そんなこと気にもしていないよという風に澄ましていたくなる。

さてしかし、これはお弁当だけの問題だろうか？私の性格や人付き合いの仕方に問題があるのでは、、、とますます深く考え込んでいる。

お弁当であれば自分の都合でいつでも好きな時に食べ始めることができるが、同僚とランチとなれば相手の都合にも合わせなくてはならない。お弁当であればたいていは自分の好きなものばかり食べることができるが、外食では皆に合わせてたり、好きなものがなかったりもする。私はそれほどまでに自分のペースを乱されたくないのか。わずか一時間、たった一食のことである。それと引き換えに得られる楽しい会話や時間の共有をこの上なく欲しているのに。

それとも誰からも誘われないみじめな自分を認めたくないのか。誘われるような人柄に近づけるよう努力してみてもどうなのか。すぐに諦めて人のせいにする、気難しい頑固な老害になってしまっているのではないだろうか。

お弁当を通じて考えさせられている今日この頃、もう少し自分を変える努力をしてみて、ランチタイムには何とか同僚と外食できる自分と、これからも変わらずお弁当作りを楽しめる自分の共存を目指してみようと思う。